

# 平林美紀先生

## 先生のプロフィール

### 【出身地】

愛知県

### 【専攻】

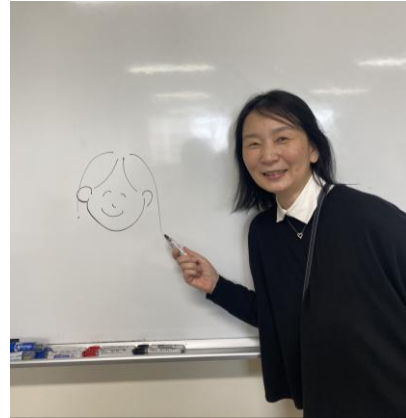
民法（連帯債務）

### 【近年(2~3年)の担当科目】

契約法、物権法

好きなアーティストは？

Perfume



## 専門分野の魅力と興味を持った理由は何ですか？

大学のサークル「法律相談所」に入ったことが、民法に興味を持ったきっかけです。大学院進学にあたり、難問と言われており、自分自身もよくわからないと感じた「不真正連帯債務」を研究テーマとしました。719条の「連帯」の問題というわかりやすいでしょうか。それから現実即した複雑な問題に魅力を感じ、研究を深めてきました。

2025年度からは、法務研究科長を務めています。その関係で、学部では、専らゼミを担当しています。

## ゼミの特色について教えてください

事例問題を解き、答案を書く「アウトプット」を重視しています。法務研究科（ロースクール）での授業の経験を活かし、他の人の答案を見て良いところを真似してみる、といった実践的な学習を心がけています。人の答案をチェックし、見る目を養うことは書くことにもつながります。

## 指導スタイルの変化と心がけていることはありますか？

2004年に南山大学に着任してから20年以上になりますが、一貫して「民法を好きになってもらいたい」と考えて教えています。法律の条文は一見難しそうに見えますが、難しいよと伝えたいです。そう気づいてもらえるよう、条文、判例、学説が何を言っているのか、なぜあるのかなどを、できるだけ簡潔に分かりやすく説明することを意識しています。

またゼミ生に伝えたいのは、自分が分かったことを大切にしてほしい、ということです。難しい専門用語を並べて、カッコいい答案を書こうと無理をする必要はありません。

自分が本当に理解していない言葉は、誰かに説明しようとしてもうまく伝わらないものです。かっこよく書きたいなら自分も頑張っって勉強するしかありません。それぞれが努力することは求めたいけれど、背伸びはしないで人にきちんと伝える、その限りで誠実にいてほしいです。その人ごとに頑張っているかをゼミではしっかり評価していきたいと思っています。

### 今までのゼミ生の中で一風変わった進路について教えてください

一度他大学へ移りながらも南山大学法学部に戻ってきて卒業し、就職後の学びなおしを経て、小学校の先生になった方がいます。また、法学部を卒業後、歯学部で学士編入し、歯科医になった方もいました。

就職できなかつたら人生終わりだとか、面接がうまくいなくて自分ダメなんじゃないか、法学部でよかったのかな、と思ひ悩む時期もあるかと思ひます。様々な事情で回り道をした学生さんたちを多く見てきて思ひのは、「思ひとおりにならなかつた人も、人生は長いので何とかなる」ということだす。「これだ！」と思ひえるものに出会ふまでに、時間がかかる人もいます。あまり気負わず頑張ってください。

### 学生に向けて一言お願いします！

「背伸びせず、自分なりのペースとタイミングで」  
周囲と比べず、自分自身のペースを大切にしてください。

### ★プログレッシブ平林ゼミの実態！（2025年度ゼミ生23名）

#### ★平林先生のトリセツ

- 学生のペースを尊重してくれる
- できないことを責めるのではなく、まずは「自分の分かっている範囲」から着実に積み上げることを応援してくれます。
- 「民法を好きになる」ことを第一に考えてくれる、温かい指導スタイルだす。

#### 日々や休暇中の課題

##### 【日々の準備、課題】

発表担当日に向けて事例問題・レジュメの作成をして、解説できるようにする

##### 【長期休暇課題】

与えられたテーマに対して、Q3,4では自作の事例問題を使って発表するので、夏季休暇中にはその作問をする

#### 活動内容

##### Q1,2

4年生からアドバイスをもらいながら、3年生3～4人のグループで発表

##### Q3,4

個人発表